

静岡県月例経済報告

(令和3年2月号)

……令和2年12月を中心とした県内経済のすがた……

No. 538

— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	12
・雇用面	14
・その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和2年12月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和2年12月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。

先行きについては、経済活動の再開が進むにつれて、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による下振れリスクの高まりに、より一層注意する必要がある。

雇用情勢は、厳しい状況にある。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、下げ止まりつつある。
- ・ 輸出は、増加している。
- ・ 生産は、持ち直しつつある。

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(12月)は、スーパーが3か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店が2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(12月)は、コンビニエンスストアが3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターがいずれも3か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(12月)は、乗用車、軽自動車がいずれも3か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも3か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(12月)は、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が9か月連続、貸家が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(12月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、下げ止まりつつある」

日銀短観(12月調査)の令和2年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業でも減少する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(12月)は、5か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、増加している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（12月）は、二輪自動車類が12か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が2か月連続、エアコンが3か月連続、自動車が7か月連続、自動車の部分品が11か月ぶり、科学光学機器が4か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（12月）は、魚介類及び同調製品、紙類及び同製品がいずれも2か月ぶり、木材が6か月連続、自動車の部分品が21か月連続で前年実績を下回ったものの、パルプが6か月ぶり、原動機が3か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,271億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しつつある」

鉱工業生産指数（12月）は、電気機械が4か月連続、輸送機械が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が14か月連続、化学が11か月連続、パルプ・紙・紙加工品が17か月連続、食料品・たばこが4か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも19か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は2か月ぶりに上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（12月）は、総合では5か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、厳しい状況にある」

有効求人倍率（12月）は0.96倍で、前月と同水準だった。また、4か月連続で0.9倍台となった。なお、21か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（12月）は、16か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（11月）は、22か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（12月）は、前年同月比 7.2%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（12月）は、前年同月比 280.9%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産（1月）は、件数は15件（前年同月比 16.6%減）と、前年実績を下回り、負債総額は149億7,900万円（同 151.9%増）と、前年実績を上回った。

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

12月 = 44,703百万円

*前年同月比： 1.1%減

(県内3百貨店、152スーパー合計)

<概況>

12月の大型小売店販売額は44,703百万円で、前年同月比 1.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 0.5%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店（同 6.9%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比 1.4%増）が11か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 14.2%減）が2か月連続、身の回り品（同 2.6%減）が3か月ぶり、家庭用品（同 8.6%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.2%減と、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額（百万円）	34,484	36,061	36,427	37,924	34,892	35,902	35,768	44,703
前年同月比（%）	▲ 4.8	▲ 0.5	▲ 0.4	0.8	▲ 10.7	6.2	▲ 0.3	▲ 1.1
うち 百貨店（%）	▲ 50.5	▲ 13.8	▲ 13.5	▲ 14.1	▲ 31.9	12.4	▲ 11.9	▲ 6.9
スーパー（%）	5.0	2.6	2.7	3.7	▲ 5.4	5.1	2.6	0.5
（参考1）全国前年同月比（%）	▲ 16.7	▲ 3.5	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 13.9	2.9	▲ 3.4	▲ 3.5
うち 百貨店（%）	▲ 63.6	▲ 17.3	▲ 18.6	▲ 20.0	▲ 32.1	▲ 0.8	▲ 13.6	▲ 13.0
スーパー（%）	4.5	3.2	3.0	3.7	▲ 4.7	4.5	1.8	1.6
（参考2）県前年同月比（店舗数調整前）	▲ 1.8	0.5	0.9	3.2	▲ 8.4	6.1	▲ 0.5	▲ 1.2

（注1）販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

（注2）令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
衣 料 品	▲ 41.5	▲ 8.3	▲ 19.8	▲ 17.3	▲ 34.9	5.2	▲ 19.0	▲ 14.2
うち 紳士服・洋品	▲ 32.4	▲ 5.8	▲ 25.9	▲ 27.5	▲ 42.6	▲ 6.8	▲ 30.9	▲ 22.9
婦人・子供服・洋品	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 17.5	▲ 13.9	▲ 31.9	8.0	▲ 14.8	▲ 11.6
身の回り品	▲ 44.0	▲ 4.8	▲ 2.4	▲ 10.3	▲ 29.8	32.9	0.9	▲ 2.6
飲 食 料 品	5.8	1.7	3.8	5.3	0.3	4.3	2.8	1.4
家 庭 用 品	▲ 13.3	0.7	▲ 9.8	▲ 10.8	▲ 34.5	▲ 3.3	▲ 9.2	▲ 8.6
うち家庭用電気機械器具	▲ 12.3	▲ 7.2	▲ 0.8	▲ 8.4	▲ 39.9	1.2	11.4	13.4

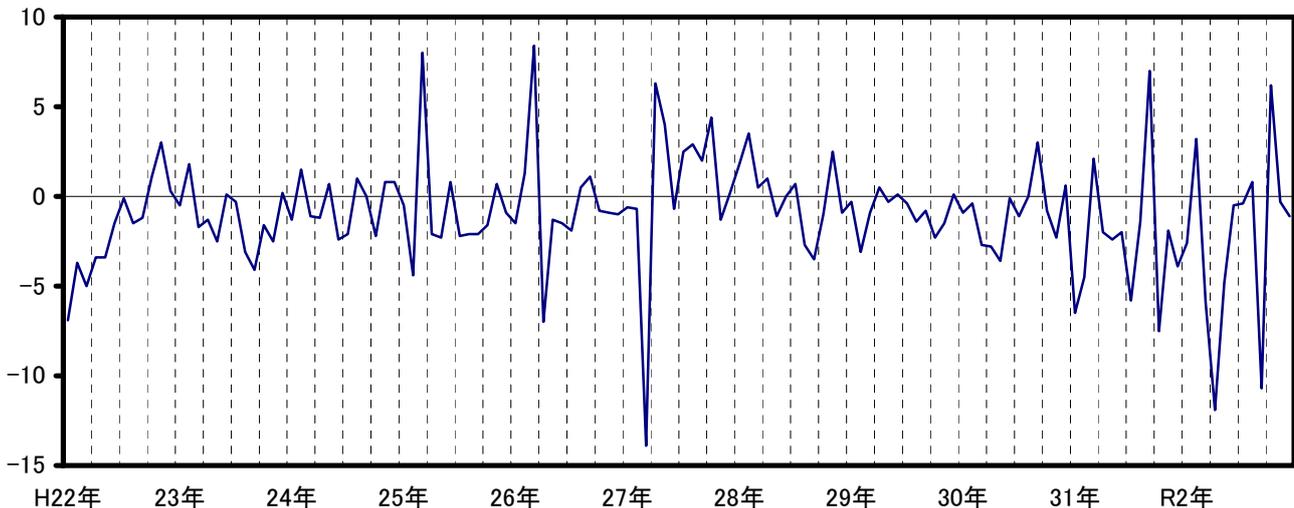
（注）店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

12月 = 81,579百万円

*前年同月比： 4.8%増

(県内89家電大型専門店、1,675コンビニエンスストア、523ドラッグストア、114ホームセンター合計)

<概況>

12月の専門量販店等販売額は81,579百万円で、前年同月比 4.8%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 3.5%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 17.8%増）、ドラッグストア（同 7.7%増）、ホームセンター（同 9.9%増）がいずれも3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
販売額(百万円)	72,520	73,680	75,788	80,322	70,675	72,036	72,618	81,579
前年同月比(%)	2.7	5.5	2.3	4.7	▲9.6	9.6	9.2	4.8
うち 家電大型専門店(%)	11.5	25.9	17.0	13.2	▲27.8	30.6	23.8	17.8
コンビニエンスストア(%)	▲9.0	▲4.6	▲8.3	▲5.5	▲3.0	3.2	5.1	▲3.5
ドラッグストア(%)	8.9	7.2	7.3	9.6	▲7.6	13.5	9.8	7.7
ホームセンター(%)	18.5	14.7	10.3	19.6	▲12.2	7.2	9.7	9.9
(参考)全国前年同月比(%)	0.2	5.8	1.2	2.9	▲10.6	5.2	5.4	3.4

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

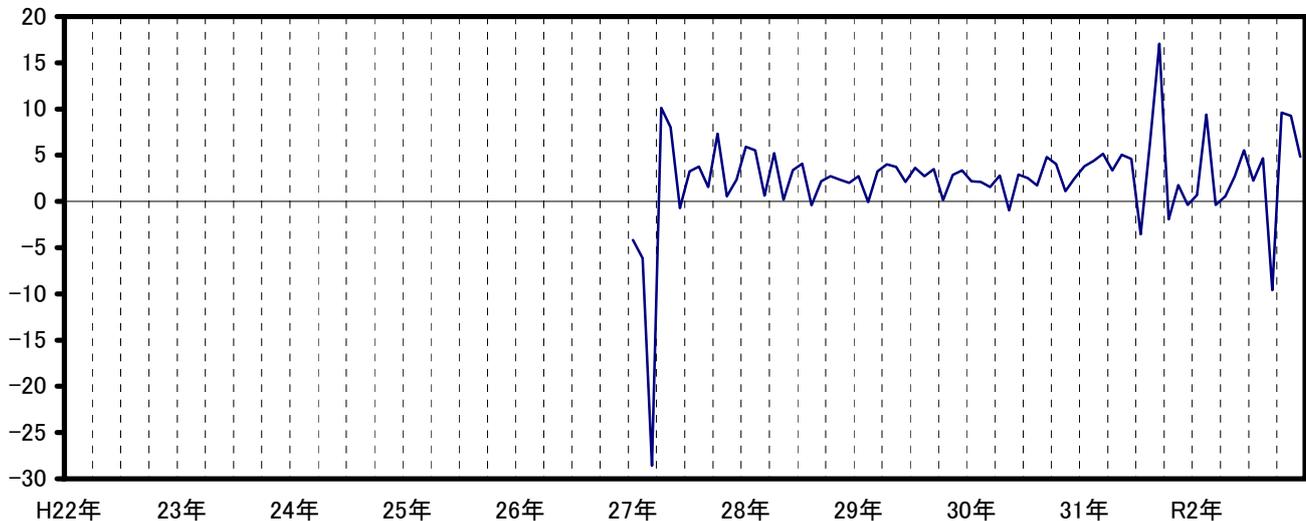
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

12月 = 13,824 台

*前年同月比： 16.3%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

12月の自動車(新車)新規登録台数は13,824台(前年同月比 16.3%増)と、3か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 18.1%増)、軽自動車(同 14.1%増)がいずれも3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
登録台数(台)	7,392	11,764	13,880	11,435	16,554	14,337	14,336	13,824
前年同月比(%)	▲45.1	▲23.8	▲12.1	▲12.0	▲11.6	30.8	11.0	16.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲46.7	▲22.6	▲12.8	▲14.8	▲14.8	30.8	6.7	10.9

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

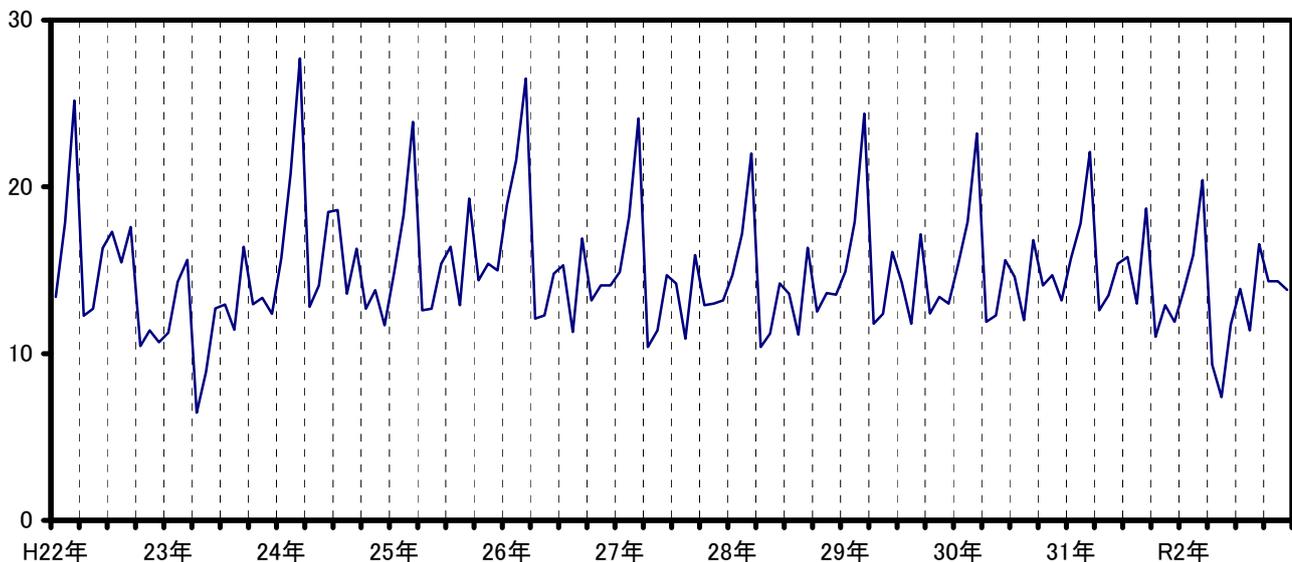
	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
全乗用車	▲45.1	▲23.8	▲12.1	▲12.0	▲11.6	30.8	11.0	16.3
乗用車	▲42.1	▲27.5	▲18.6	▲15.5	▲15.5	39.1	10.4	18.1
軽自動車	▲48.5	▲19.4	▲4.2	▲8.2	▲6.8	22.3	11.7	14.1

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

12月 = 1,780 戸

*前年同月比： 5.4%減

<概況>

12月の新設住宅着工戸数は1,780戸で、前年同月比 5.4%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 4.3%増）が3か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 0.6%減）が9か月連続、貸家（同 16.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

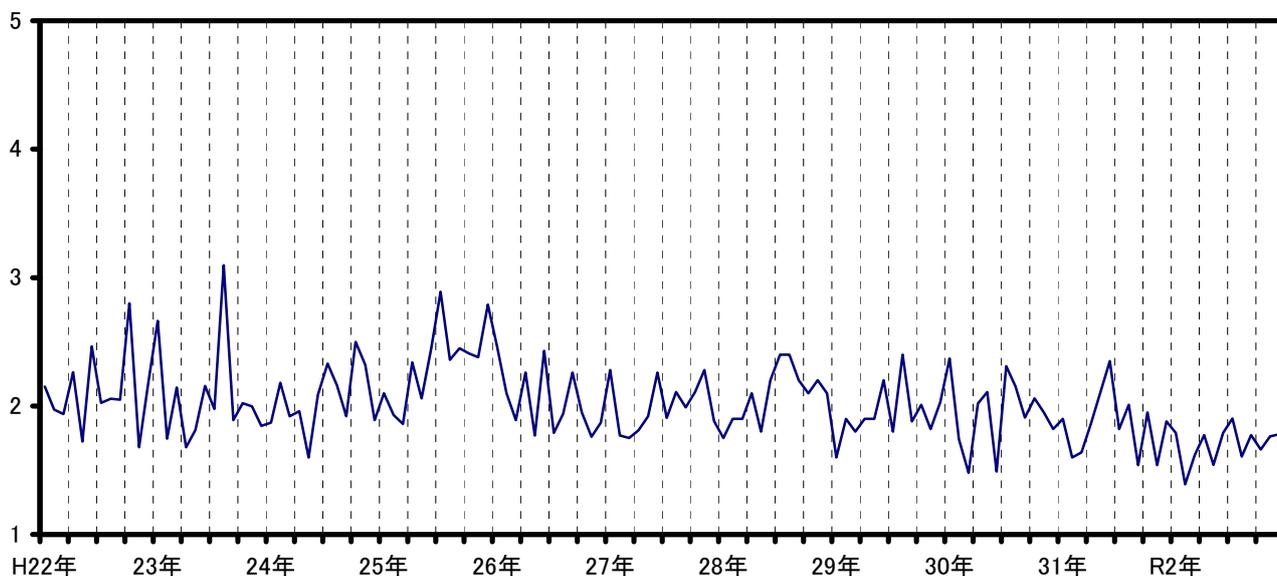
	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
戸数 (戸)	1,541	1,790	1,902	1,606	1,773	1,661	1,763	1,780
前年同月比 (%)	▲ 27.0	▲ 23.8	4.4	▲ 20.2	15.4	▲ 14.9	14.6	▲ 5.4
うち持家 (%)	▲ 40.1	▲ 17.1	▲ 13.2	▲ 22.7	▲ 1.0	▲ 10.4	▲ 3.4	▲ 0.6
貸家 (%)	18.2	▲ 39.2	▲ 1.4	▲ 23.5	45.0	▲ 23.8	23.7	▲ 16.0
分譲住宅 (%)	▲ 46.2	▲ 10.9	92.7	▲ 5.2	32.6	▲ 15.9	▲ 21.0	4.3
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 12.3	▲ 12.8	▲ 11.4	▲ 9.1	▲ 9.9	▲ 8.3	▲ 3.7	▲ 9.0

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

12月 = 15,521百万円

*前年同月比： 1.1%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

12月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は15,521百万円で、前年同月比1.1%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は511件で、前年同月比6.2%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
金額(百万円)	51,996	61,723	41,226	37,227	53,175	21,874	17,953	15,521
前年同月比(%)	59.9	49.8	▲3.0	23.9	▲17.2	▲34.6	5.2	1.1
年度累計前年同月比(%)	5.7	17.4	13.0	14.5	7.5	3.2	3.3	3.2
件数(件)	494	727	857	782	1,274	784	664	511
前年同月比(%)	▲13.8	8.5	▲2.7	2.8	18.4	▲15.8	▲1.6	▲6.2
年度累計前年同月比(%)	2.3	4.6	2.2	2.3	6.2	2.4	2.0	1.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

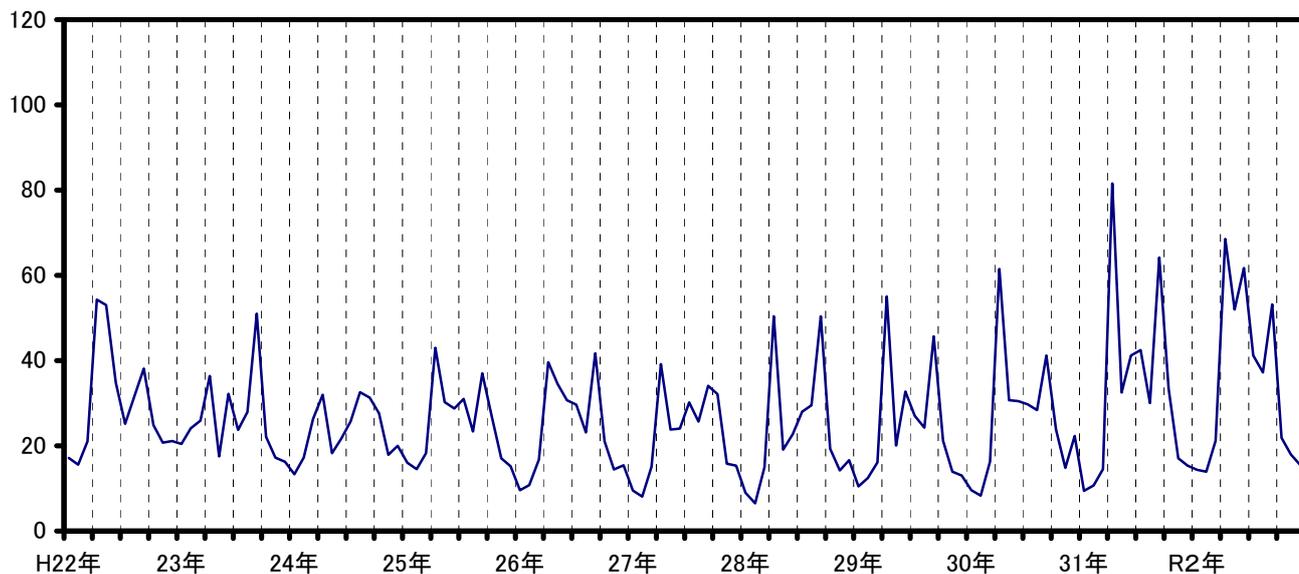
	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国	56.2	25.7	23.7	23.5	40.6	▲66.9	95.4	200.2
独立行政法人等	317.0	255.2	255.5	407.7	▲70.7	58.2	▲12.0	▲60.2
県	8.8	46.2	▲7.2	39.0	24.6	▲34.2	▲1.9	27.6
市町	▲19.9	44.8	▲18.2	▲6.7	12.6	▲25.6	▲3.3	▲5.3
地方公社	-	-	▲78.4	▲98.6	▲64.9	▲39.6	439.4	-
その他	247.4	▲85.2	▲28.1	▲44.5	▲45.3	▲61.4	▲85.9	▲68.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 3.3%減）、非製造業（同 2.6%減）、全産業（同 2.9%減）においていずれも減少する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 0.7%増）で増加、非製造業（同 3.1%減）で減少し、全産業（同 0.4%減）では減少する計画となっている。

12月の着工建築物床面積（非居住用）は57,195㎡で、前年同月比 56.4%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	5.2	(3.2) ▲2.9
	全国	▲0.6	(▲1.3) ▲3.9
製造業	県	9.4	(5.9) ▲3.3
	全国	0.9	(▲2.8) ▲3.1
非製造業	県	1.0	(0.6) ▲2.6
	全国	▲1.5	(▲0.4) ▲4.5

（ ）内は前回調査比修正率

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	1.4	(2.5) ▲0.4
	全国	1.6	(▲2.1) ▲3.0
製造業	県	0.7	(3.4) 0.7
	全国	1.7	(▲2.8) ▲2.6
非製造業	県	3.0	(0.0) ▲3.1
	全国	1.5	(▲1.2) ▲3.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和2年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和2年12月調査）」

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	114,434	127,714	132,677	100,766	88,933	102,751	60,377	57,195
前年同月比（%）	▲23.5	▲21.6	24.5	▲14.8	▲2.5	▲45.9	▲49.0	▲56.4
（参考）全国前年同月比（%）	▲2.6	▲18.2	▲22.6	▲8.2	7.8	▲7.3	▲10.1	▲14.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R2年9月	12月	R3年3月 (予測)
全産業	全産業	▲33	▲20	▲21
	製造業	▲43	▲24	▲24
	非製造業	▲24	▲15	▲16
（参考）全国・全産業		▲28	▲15	▲18

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和2年12月調査）」

5 輸出

12月 = 209,439百万円

*前年同月比： 12.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

12月の清水税関支署管内の輸出総額は209,439百万円で、前年同月比 12.0%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、二輪自動車類（前年同月比 30.3%減）が12か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 28.7%増）が2か月連続、エアコン（同 31.3%増）が3か月連続、自動車（同 27.0%増）が7か月連続、自動車の部分品（同 7.8%増）が11か月ぶり、科学光学機器（同 30.1%増）が4か月連続で前年実績を上回った。
 地域別にみると、アジア向け（前年同月比 20.8%増）が4か月連続、米国向け（同 7.6%増）、EU向け（同 14.4%増）がいずれも3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸出総額(百万円)	102,775	125,170	142,582	140,513	216,939	190,031	189,052	209,439
前年同月比(%)	▲ 32.6	▲ 29.2	▲ 31.5	▲ 13.5	32.3	1.4	7.2	12.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
原動機	▲ 58.9	▲ 51.3	▲ 40.4	▲ 39.4	▲ 20.5	▲ 14.8	6.9	28.7
エアコン	▲ 56.7	▲ 36.8	▲ 40.5	▲ 39.3	▲ 8.4	9.6	32.8	31.3
自動車	▲ 74.5	90.8	102.7	66.6	90.1	84.0	6.1	27.0
自動車の部分品	▲ 47.5	▲ 60.0	▲ 49.9	▲ 38.9	▲ 10.9	▲ 9.7	▲ 3.1	7.8
二輪自動車類	▲ 65.8	▲ 62.6	▲ 41.0	▲ 25.5	▲ 12.8	▲ 27.3	▲ 39.7	▲ 30.3
科学光学機器	43.3	30.6	▲ 0.7	▲ 4.5	25.3	3.6	39.9	30.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲ 13.5	▲ 23.4	▲ 18.4	▲ 12.6	16.2	7.5	18.0	20.8
米国	▲ 40.5	▲ 51.9	▲ 61.8	▲ 30.4	67.3	▲ 8.5	▲ 3.8	7.6
EU	▲ 51.3	▲ 8.9	▲ 0.1	3.8	31.9	▲ 0.6	▲ 0.3	14.4

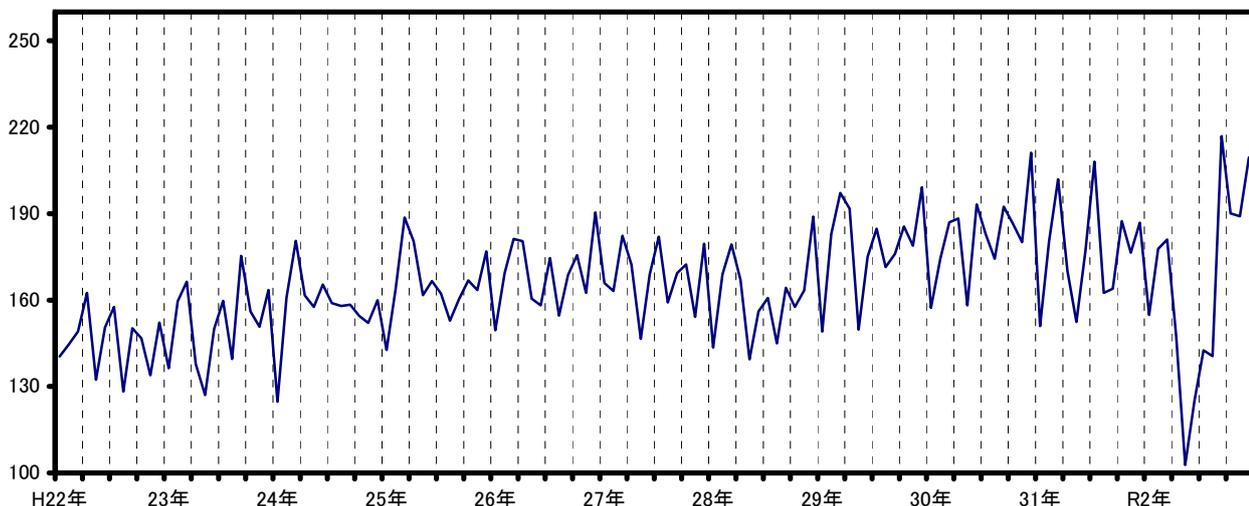
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
 なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

12月 = 82,308百万円

*前年同月比： 2.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

12月の清水税関支署管内の輸入総額は82,308百万円で、前年同月比 2.0%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 3.4%減）、紙類及び同製品（同 19.6%減）がいずれも2か月ぶり、木材（同 9.6%減）が6か月連続、自動車の部分品（同 3.9%減）が21か月連続で前年実績を下回ったものの、パルプ（同 11.0%増）が6か月ぶり、原動機（同 67.3%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 1.1%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、米国から（同 10.9%増）が2か月ぶり、EUから（同 14.5%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
輸入総額(百万円)	75,883	74,880	72,097	70,468	72,331	89,683	85,644	82,308
前年同月比(%)	▲20.9	▲14.4	▲21.2	▲15.4	▲13.5	3.4	▲6.1	2.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類及び同調製品	▲21.8	0.6	▲27.9	▲18.8	▲4.0	▲3.8	15.1	▲3.4
木材	▲43.3	4.7	▲27.9	▲13.9	▲34.5	▲11.7	▲24.0	▲9.6
パルプ	▲45.9	4.3	▲9.2	▲36.1	▲29.9	▲3.8	▲26.4	11.0
紙類及び同製品	▲28.0	▲1.3	▲32.9	▲34.9	▲22.1	▲10.3	4.6	▲19.6
原動機	▲41.5	▲34.8	▲30.7	▲42.0	▲11.8	8.9	14.5	67.3
自動車の部分品	▲63.4	▲53.2	▲36.4	▲26.9	▲42.1	▲6.4	▲5.0	▲3.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

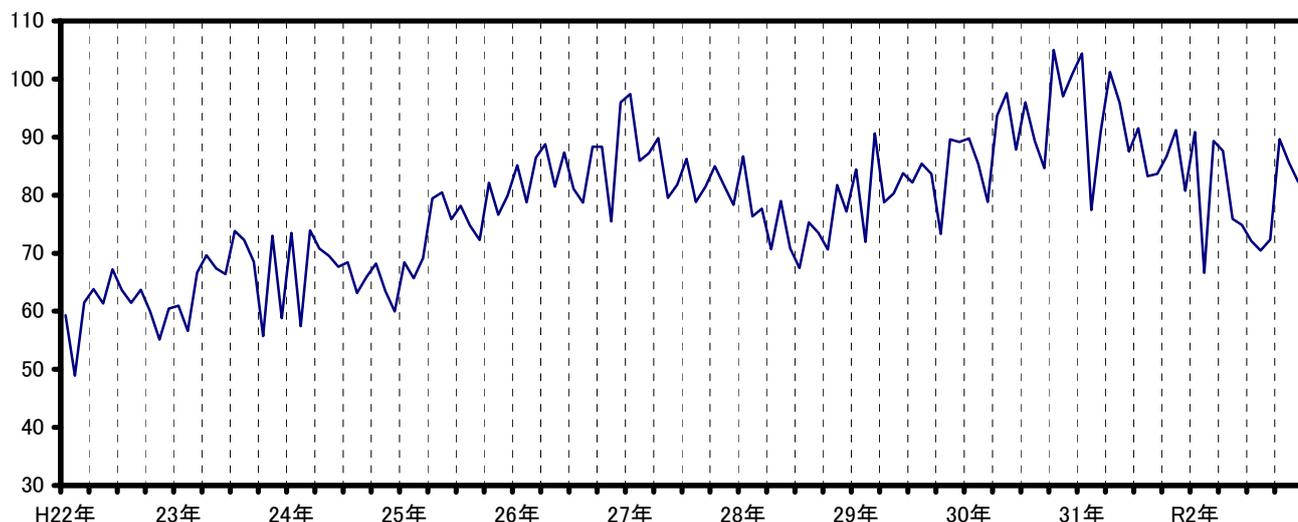
	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
アジア	▲29.7	▲17.4	▲23.5	▲8.5	▲21.4	12.9	▲6.5	▲1.1
米国	36.8	▲18.2	▲43.0	7.5	▲13.0	15.7	▲4.1	10.9
EU	▲33.0	34.3	▲24.9	▲1.4	1.7	▲2.5	▲5.2	14.5

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

12月 = 93.6

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.0%増

*前年同月比(原指数) : 2.6%減

<概況>

12月の鉱工業生産指数(総合)は93.6(季節調整済指数)で、前月比は1.0%増と、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は2.6%減と、19か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、電気機械(前年同月比5.5%増)が4か月連続、輸送機械(同1.2%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同17.9%減)が14か月連続、化学(同7.0%減)が11か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.9%減)が17か月連続、食料品・たばこ(同2.2%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	69.6	82.1	88.5	90.1	94.1	94.3	92.7	93.6
前月比(%)	▲7.7	18.0	7.8	1.8	4.4	0.2	▲1.7	1.0
前年同月比(%)	▲34.5	▲14.8	▲12.5	▲10.2	▲3.9	▲6.4	▲9.3	▲2.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲26.3	▲18.2	▲15.5	▲13.8	▲9.0	▲3.0	▲3.9	▲2.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲30.1	▲18.1	▲33.2	▲26.4	▲23.5	▲19.4	▲22.9	▲17.9
電気機械工業	▲32.7	▲20.3	▲16.0	▲10.0	4.7	0.3	0.9	5.5
輸送機械工業	▲54.2	▲8.3	▲2.6	▲4.8	4.8	0.2	▲7.9	1.2
化学工業	▲11.9	▲5.3	▲10.3	▲16.0	▲5.3	▲16.8	▲15.7	▲7.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲8.6	▲9.1	▲14.1	▲4.7	▲6.2	▲2.6	▲3.9	▲1.9
食料品・たばこ工業	▲29.5	▲18.8	▲7.6	0.5	▲4.7	▲9.5	▲9.5	▲2.2

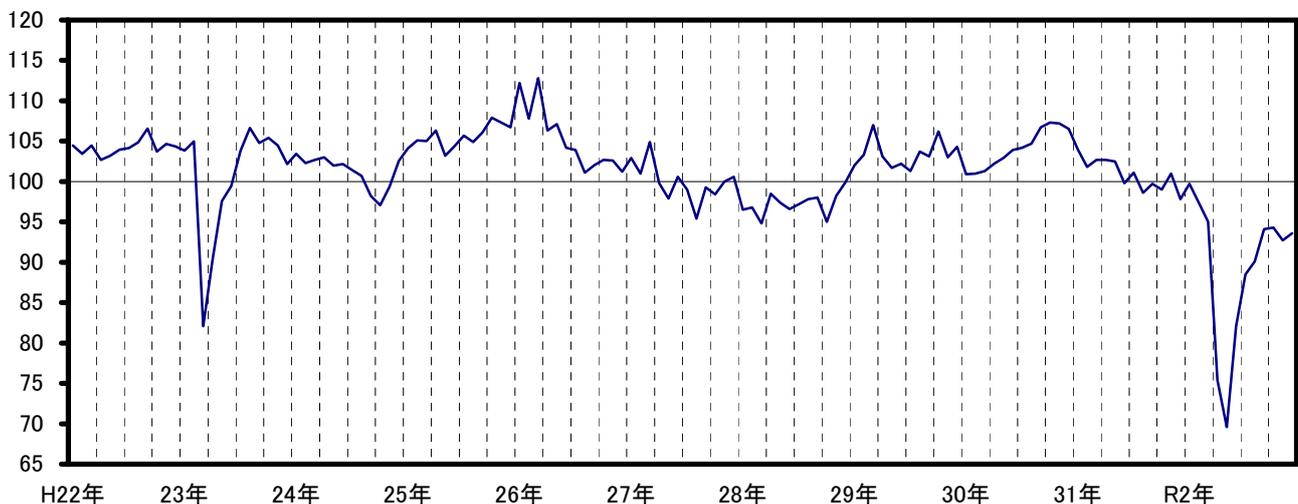
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

12月 = 104.3

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.3%増

*前年同月比(原指数) : 4.7%減

<概況>

12月の鋳工業在庫指数(総合)は104.3(季節調整済指数)で、前月比は0.3%増と、2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.7%減と、5か月連続で前年水準を下回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、輸送機械(前年同月比27.3%増)が8か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同3.4%増)が5か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同0.6%減)が24か月ぶり、電気機械(同3.4%減)が12か月連続、化学(同18.6%減)、食料品・たばこ(同6.8%減)がいずれも7か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	109.0	105.4	107.8	105.9	104.8	101.9	104.0	104.3
前月比(%)	0.3	▲3.3	2.3	▲1.8	▲1.0	▲2.8	2.1	0.3
前年同月比(%)	3.0	▲1.1	0.5	▲2.7	▲0.8	▲4.6	▲3.6	▲4.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.5	▲3.4	▲4.8	▲5.9	▲5.7	▲8.1	▲9.0	▲8.4

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.8	17.0	10.6	9.6	8.1	5.0	0.3	▲0.6
電気機械工業	▲4.9	▲0.8	▲12.5	▲13.4	▲5.4	▲0.5	▲2.4	▲3.4
輸送機械工業	10.8	43.3	54.1	21.6	58.7	14.2	24.7	27.3
化学工業	21.9	▲2.3	▲1.8	▲6.3	▲6.5	▲16.3	▲9.1	▲18.6
パルプ・紙・紙加工品工業	0.9	2.8	0.0	4.6	10.4	8.7	8.8	3.4
食料品・たばこ工業	7.4	▲7.7	▲4.4	▲5.7	▲13.7	▲9.0	▲13.8	▲6.8

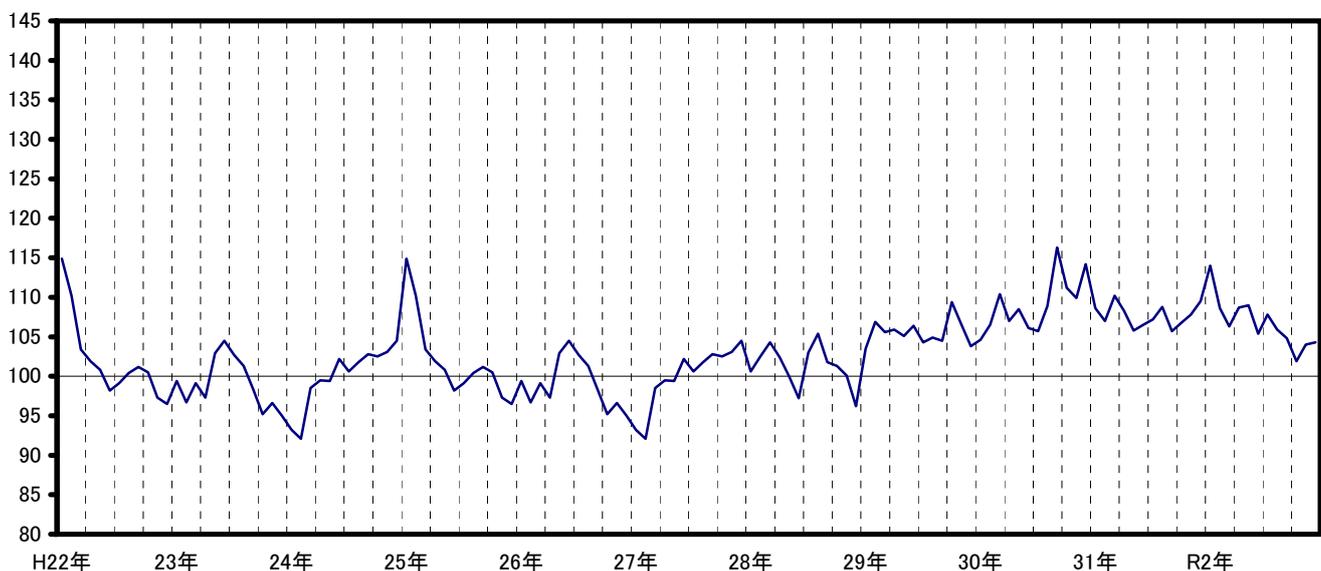
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

12月 = 0.96倍

*前月比（季節調整値）： 同水準

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

12月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は0.96倍となり、前月と同水準だった。また、21か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 19.2%減）は28か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 4.9%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業（同 21.6%減）が25か月連続、情報通信業（同 17.7%減）が11か月連続、運輸業・郵便業（同 33.1%減）、卸売業・小売業（同 15.4%減）がいずれも12か月連続、医療・福祉（同 14.3%減）が14か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 29.0%減）が20か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	1.06	0.96	0.90	0.88	0.90	0.93	0.96	0.96
全 国	1.20	1.11	1.08	1.04	1.03	1.04	1.06	1.06

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建 設 業	▲ 0.5	▲ 4.4	▲ 0.9	▲ 7.8	▲ 3.6	10.0	0.4	4.9
製 造 業	▲ 43.6	▲ 42.5	▲ 48.0	▲ 44.3	▲ 27.7	▲ 35.6	▲ 22.6	▲ 21.6
情 報 通 信 業	▲ 29.6	▲ 28.8	▲ 42.0	▲ 33.8	▲ 28.0	▲ 20.6	▲ 38.7	▲ 17.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 15.8	▲ 25.3	▲ 34.0	▲ 13.5	▲ 42.5	▲ 24.5	▲ 12.7	▲ 33.1
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 35.7	▲ 31.7	▲ 28.1	▲ 36.7	▲ 24.3	▲ 20.6	▲ 30.3	▲ 15.4
医 療 ・ 福 祉	▲ 27.7	▲ 18.7	▲ 10.8	▲ 26.8	▲ 11.6	▲ 6.6	▲ 20.1	▲ 14.3
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 52.1	▲ 51.1	▲ 53.4	▲ 47.1	▲ 31.0	▲ 38.3	▲ 18.6	▲ 29.0
合 計	▲ 32.9	▲ 29.1	▲ 32.7	▲ 31.5	▲ 22.0	▲ 20.0	▲ 20.6	▲ 19.2

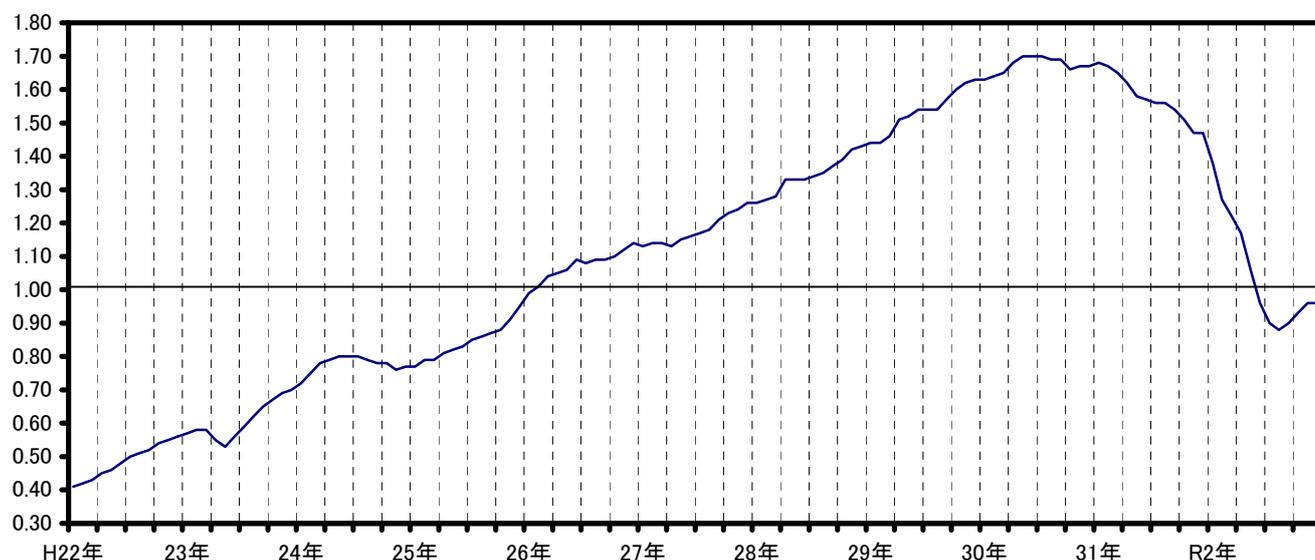
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

12月 = 13,707人

*前月比: 6.3%減

*前年同月比: 28.4%増

<概況>

12月の雇用保険受給者実人員は13,707人で、前月比は6.3%減と、4か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は28.4%増と16か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.9%と前月と同水準だった。

静岡県(令和2年7~9月)の完全失業率は2.6%で、前期(令和2年4~6月)から0.4ポイント悪化した。

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実人員(人)	11,648	14,183	16,199	16,852	16,694	15,937	14,632	13,707
前月比(%)	17.9	21.8	14.2	4.0	▲0.9	▲4.5	▲8.2	▲6.3
前年同月比(%)	8.0	33.3	41.8	48.3	44.8	38.0	34.3	28.4
(参考)全国前年同月比(%)	3.0	25.8	27.6	33.2	35.8	32.2	27.4	21.7

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完全失業率(全国)(%)	2.9	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1	2.9	2.9

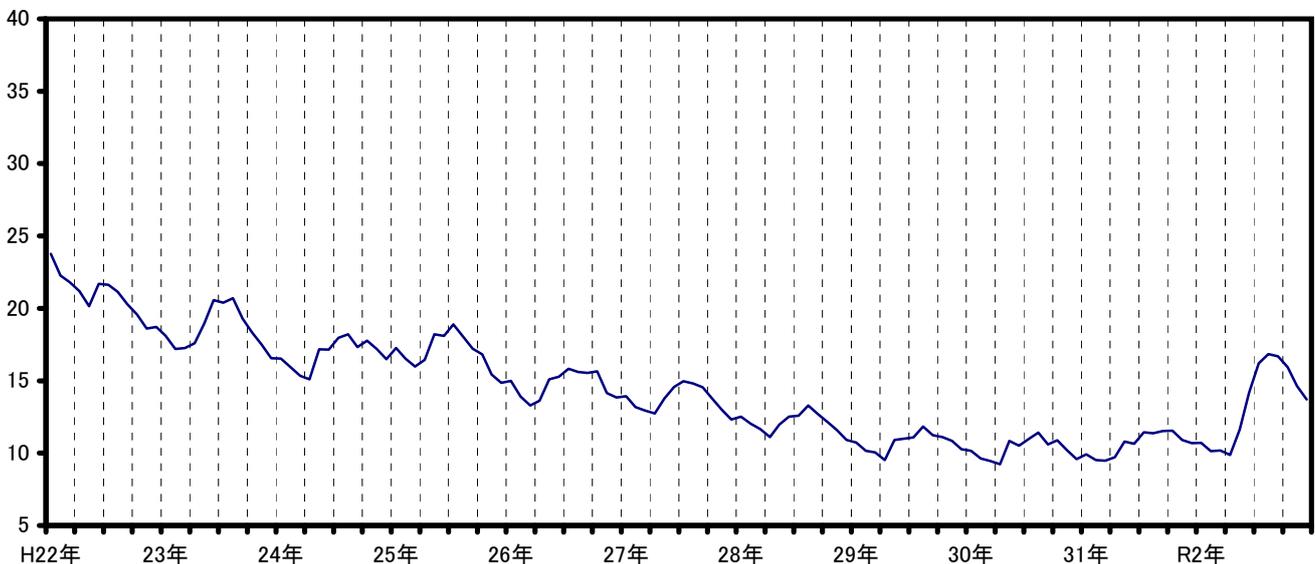
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

11月 = 74.9

*前月比(季節調整済指数): 4.5%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 10.3%減

<概況>

11月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は74.9(季節調整済指数)で、前月比は4.5%増となった。また、前年同月比(原指数)は10.3%減と、22か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比 2.7%増)が3か月ぶり、医療・福祉(同 24.1%増)が6か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同 8.1%減)が25か月連続、情報通信業(同 17.1%減)が12か月連続、運輸業・郵便業(同 27.9%減)が13か月連続、卸売業・小売業(同 22.7%減)、その他のサービス業(同 9.6%減)がいずれも8か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	71.6	55.1	57.9	64.3	70.7	72.8	71.7	74.9
前月比(%)	▲20.4	▲23.0	5.1	11.1	10.0	3.0	▲1.5	4.5
前年同月比(%)	▲22.3	▲38.2	▲31.7	▲26.6	▲22.7	▲16.8	▲15.2	▲10.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲19.9	▲30.6	▲24.3	▲16.3	▲14.7	▲12.4	▲10.3	▲9.5

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	39.8	2.5	▲31.1	27.8	32.5	▲12.4	▲22.2	2.7
製造業	▲30.1	▲54.1	▲39.3	▲35.0	▲33.1	▲20.2	▲15.9	▲8.1
情報通信業	▲36.1	▲25.8	▲23.5	▲36.7	▲39.1	▲31.6	▲18.0	▲17.1
運輸業・郵便業	▲26.9	▲25.2	▲37.9	▲29.2	▲30.7	▲29.1	▲27.3	▲27.9
卸売業・小売業	▲12.5	▲25.6	▲13.7	▲25.6	▲15.0	▲18.4	▲29.2	▲22.7
医療・福祉	▲1.4	0.0	39.2	11.1	20.9	25.8	22.8	24.1
その他のサービス業	▲10.5	▲35.7	▲23.2	▲20.2	▲4.2	▲19.0	▲11.0	▲9.6
調査産業計	▲22.3	▲38.2	▲31.7	▲26.6	▲22.7	▲16.8	▲15.2	▲10.3

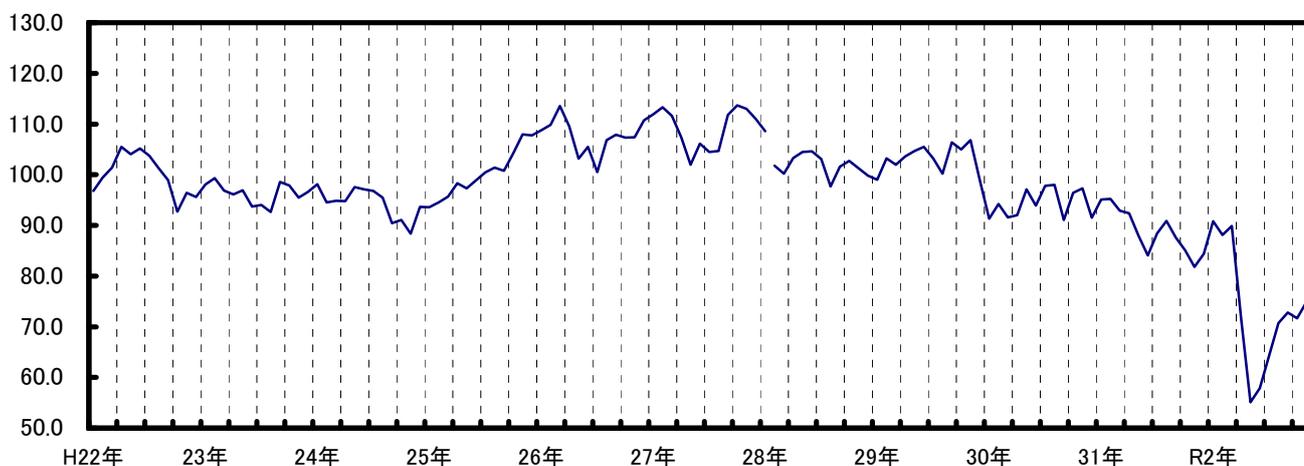
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

1 月 = 100.7

*前 月 比: 0.4%上昇

(平成27年=100)

*前年同月比: 1.6%下落

<概 況>

1月の国内企業物価指数は100.7となり、前月比は0.4%の上昇となった。また、前年同月比は1.6%の下落となった。

<最近の動き>

	R 2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月
国内企業物価指数	99.6	100.2	100.3	100.1	99.9	99.8	100.3	100.7
前 月 比 (%)	0.7	0.6	0.1	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	0.5	0.4
前年同月比 (%)	▲ 1.6	▲ 0.9	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 1.6

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

12月 = 145,997億円

*前 月 比: 0.6%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 7.2%増

<概 況>

12月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,997億円で、前月比は0.6%の増加となった。また、前年同月比は7.2%の増加となった。

	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出残高(億円)	142,636	144,316	145,237	145,086	145,276	145,328	145,170	145,997
前 月 比 (%)	3.1	1.2	0.6	▲ 0.1	0.1	0.0	▲ 0.1	0.6
前年同月比 (%)	5.4	6.1	7.0	7.0	6.7	7.7	7.3	7.2

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

12月 = 1.637%

*前 月 差: 0.019ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.102ポイント減

<概 況>

12月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.637%で、前月から0.019ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.102ポイントのマイナスとなった。

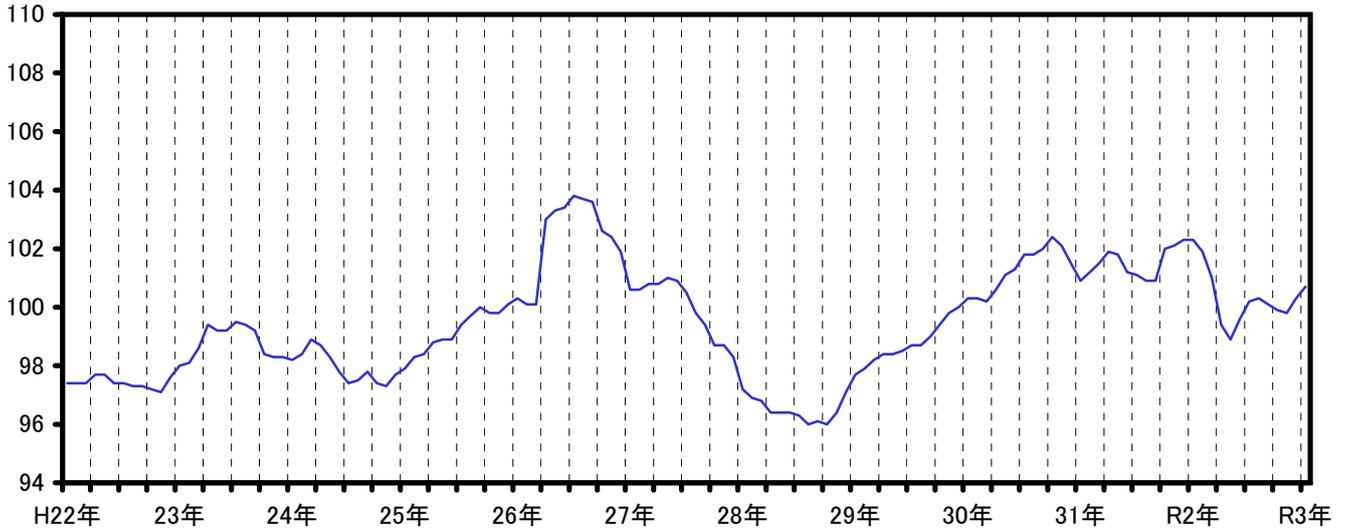
	R 2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
貸出約定金利(%)	1.710	1.686	1.686	1.678	1.671	1.660	1.656	1.637
前月差(ポイント)	▲ 0.013	▲ 0.024	0.000	▲ 0.008	▲ 0.007	▲ 0.011	▲ 0.004	▲ 0.019
前年同月差(ポイント)	▲ 0.123	▲ 0.127	▲ 0.108	▲ 0.108	▲ 0.102	▲ 0.110	▲ 0.102	▲ 0.102

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

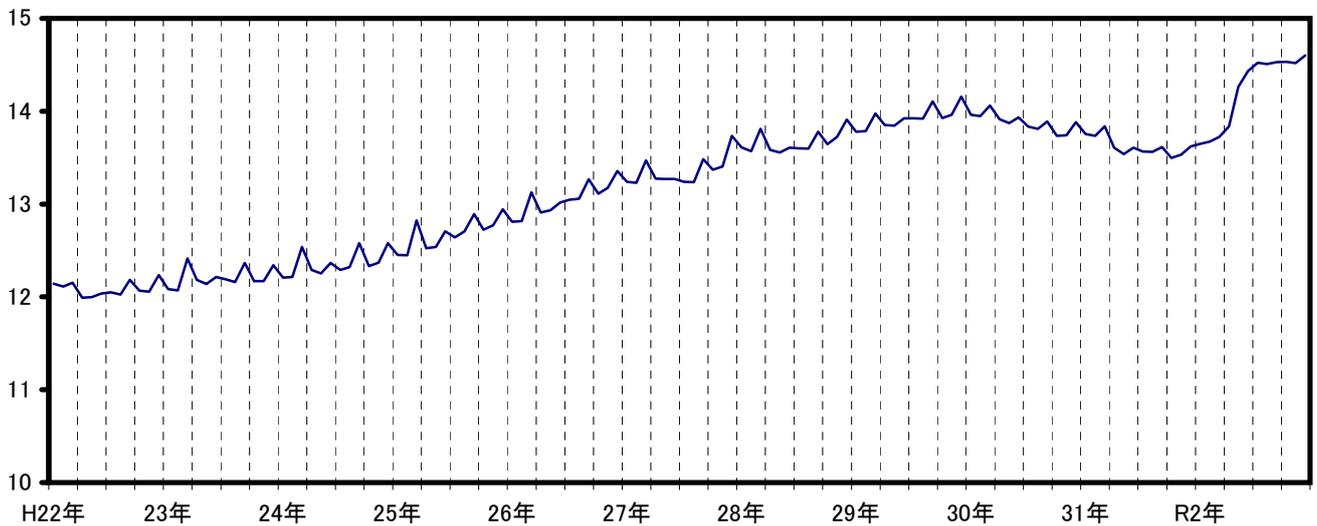
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



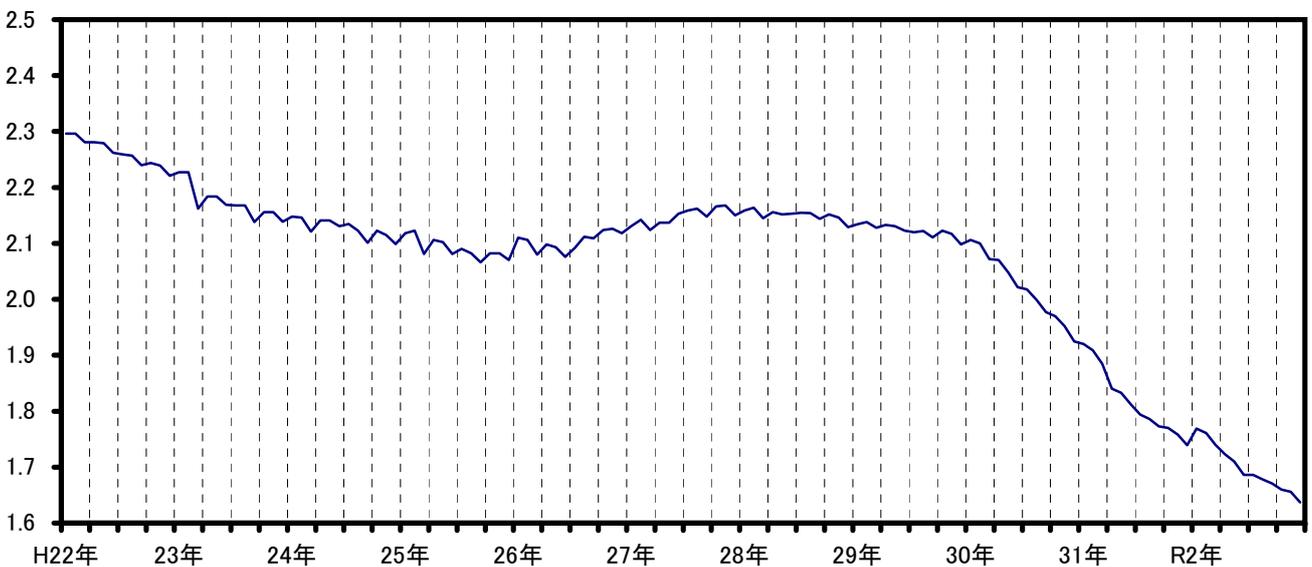
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**12月 = 56,544百万円**

*前年同月比：280.9%増

<概況>

12月の保証承諾は、金額は56,544百万円（前年同月比280.9%増）、件数は5,220件（同257.4%増）と、いずれも10か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
保証金額（百万円）	172,545	174,381	144,620	60,088	46,212	39,846	42,712	56,544
前年同月比（%）	1,345.9	1,185.2	933.1	408.5	243.4	228.0	209.3	280.9
保証件数（件）	8,566	12,152	10,346	4,791	3,836	3,485	3,615	5,220
前年同月比（%）	609.2	786.5	620.6	296.3	208.0	193.5	179.8	257.4

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**1月 = 103.70円/ドル**

*前月差：0.12円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差：5.64円高

<概況>

1月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は103.70円で、前月と比べて0.12円の円高となり、7か月連続で円高となった。

<最近の動き>

	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
平均相場（円）	107.56	106.78	106.04	105.74	105.24	104.40	103.82	103.70
前月差（円）	0.25	▲0.78	▲0.74	▲0.30	▲0.50	▲0.84	▲0.58	▲0.12
前年同月差（円）	▲0.50	▲1.44	▲0.23	▲1.67	▲2.88	▲4.46	▲5.36	▲5.64

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****1月 = 15件**

*前年同月比：16.6%減

<概況>

1月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は15件（前年同月比16.6%減）と、前年実績を下回り、負債総額は14,979百万円（同151.9%増）と、前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が13件と全体の86.7%を占め、278か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

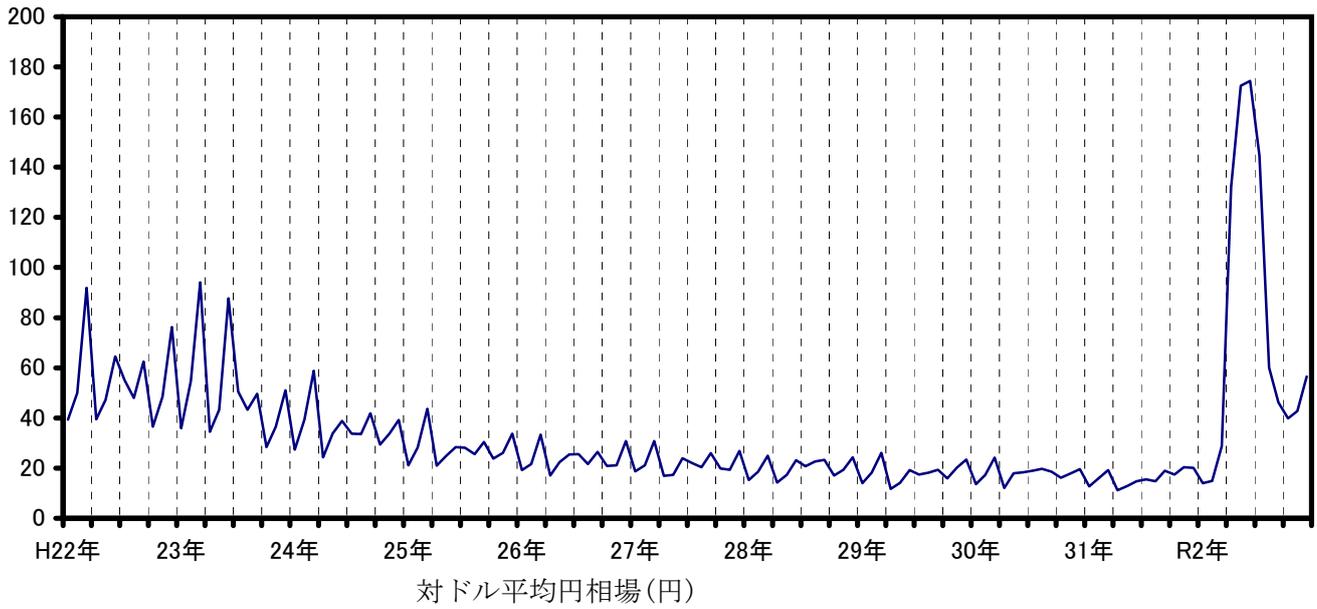
	R2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月
倒産件数（件）	32	16	14	13	11	16	19	15
前年同月比（%）	128.5	▲44.8	16.6	▲35.0	▲26.6	▲30.4	58.3	▲16.6
うち不況型倒産件数（件）	29	14	13	12	9	16	16	13
負債総額（百万円）	2,398	1,732	1,907	1,136	809	1,657	1,942	14,979
前年同月比（%）	▲24.8	▲55.7	30.7	▲26.3	▲53.0	▲42.9	▲95.2	151.9

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

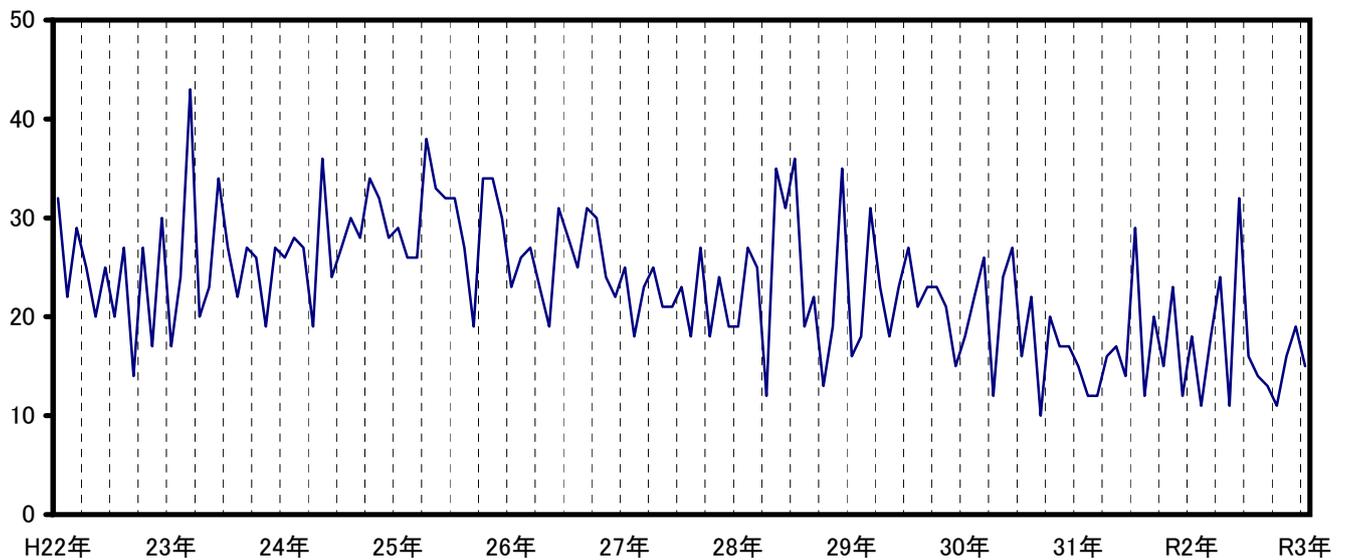
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和2年12月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>11月の国内二輪車生産台数は、48,541台（前年同月比 5.1%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、10,160台（同 13.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,634台（同 22.4%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,226台（同 42.4%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、28,521台（同 17.8%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、26,909台（同 22.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、30,854台（同 17.6%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>11月の自動車国内生産台数は、782,237台（前年同月比 2.8%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。輸出は394,890台（同 4.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が3か月ぶり、トラックが2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>12月の冷蔵庫の国内出荷額は340億円（前年同月比 6.0%増）と、3か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は286千台（同 3.0%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>12月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは635千台（同 8.6%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。業務用は62千台（同 7.8%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>12月の携帯電話の国内出荷台数は、1,486千台（同 5.5%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,178千台（同 0.1%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 79.2%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>12月の工作機械の受注総額は、990億5,700万円（前年同月比 9.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は672億1,500万円（同 27.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが413億5,500万円（同 109.1%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。内需は318億4,200万円（同 14.6%減）と、25か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「北米及び中国案件の受注が増えていることから、親会社の状況は先の明るさが見えてきた感があるが、コロナ禍の中で情勢がどう変わるか不透明である。」「1～2年先の相談案件はあるが、コロナ禍による当面の仕事量確保が難しく、売上げ減少による収益圧迫で赤字企業が増えてきている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>12月の県内楽器メーカーの販売金額は、47億9,165万円（前年同月比4.9%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが26億123万円（同4.7%減）と、国内向けが21億9,041万円（同5.1%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,368台（同12.0%増）だった。機種別では、アップライトピアノが2,333台（同17.8%増）、グランドピアノ1,035台（同0.9%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,513台（同5.3%増）、国内向けが1,219台（同13.9%増）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>12月の紙・板紙の国内出荷高は、1,915千トン（前年同月比3.2%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は960千トン（同6.2%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。板紙は955千トン（同0.1%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、500千トン（同9.4%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、169千トン（同7.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>12月の県内生産量は、食缶類が国内向け960千箱（前年同月比3.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は587千箱（同9.8%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。うち、主力であるツナ缶は409千箱（同14.3%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は373千箱（同9.0%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,107千箱（同3.3%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>12月の広幅織物の県内生産は、729千㎡（前年同月比47.2%減）と、19か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、687千㎡（同47.8%減）と、21か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、42千㎡（同34.9%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、20千㎡（同21.8%減）と、33か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>12月の全国百貨店での家具販売額は、47億8,273万円（前年同月比14.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、726億4,969万円（同10.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>12月の県内百貨店・スーパーの販売額は、44,703百万円（既存店前年同月比 1.1%減）と、前年同月の実績を下回った。品目別では、飲食料品とその他の商品を除く品目（衣料品、身の回り品、家庭用品、食堂・喫茶）で、前年同月と比較して減少しており、特に食堂・喫茶の減少幅が大きかった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大による影響で、売上げ及び来客数は、前年同月と比較して減少した。消費者の外出自粛の傾向が続いていること等から、特に衣料品の売上げが不調であった。一方で、生鮮や惣菜、おせち料理といった食品の売上げは好調であった。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、百貨店と同様、売上げ及び来客数は、前年同月と比較して減少した。新年の混雑を避けるため、年末から開始した初売りや福袋の販売は好調だったものの、月全体の落ち込みをカバーするまでには至らなかった。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、外出を控え、家で食事を作る消費者が多いことから、前年同月と比較して来客数は微減したが、売上げは増加した。特に、年末用の商品の売上げが好調であった。</p> <p>全体としては、前月と同様に、感染再拡大による影響が各業態で見られた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>12月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約27万人と、前年同月比 2.7%増だった。</p> <p>国の観光需要喚起策である「GO TOトラベルキャンペーン」が28日から全国的に一時停止されることが14日に発表され、本県独自の観光需要喚起策である「バイ・シズオカ～今こそ！しずおか!!元気旅!!!～」も合わせて停止した。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約56万台となり、前年同月比0.8%減となった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたことに伴い、令和元年10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
完成車生産台数(台)	18,471	4,821	12,273	13,856	14,410	21,253	20,918	20,803	17,648
前年同月比(%)	▲ 2.3	▲ 74.0	▲ 30.8	▲ 37.1	▲ 11.2	▲ 13.7	▲ 19.1	▲ 21.3	▲ 27.3
KD輸出額(百万円)	1,082	32	526	514	506	658	1,307	1,147	1,590
前年同月比(%)	25.4	▲ 97.2	▲ 43.5	▲ 66.3	▲ 47.2	▲ 35.5	6.0	▲ 37.2	3.0

<楽器>

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生産総額(百万円)	1,997	1,130	2,128	2,326	1,801	2,341	2,888	2,814	2,848
前年同月比(%)	▲ 39.6	▲ 64.6	▲ 32.5	▲ 35.7	▲ 32.3	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 15.9	▲ 8.1

<缶詰>

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食缶生産高(千ケース)	1,173	1,113	1,145	1,062	1,029	1,118	1,069	1,001	960
前年同月比(%)	17.2	25.0	21.0	▲ 0.8	14.1	19.2	3.2	▲ 9.8	▲ 3.3
うち水産缶詰(%)	18.5	29.1	28.9	3.8	13.5	19.7	▲ 2.4	▲ 14.7	▲ 9.8
農畜産缶詰(%)	14.4	16.6	6.3	▲ 9.0	15.3	18.3	14.2	0.1	9.0
飲料缶生産高(千ケース)	7,742	6,986	7,190	8,475	7,336	6,494	6,253	5,983	6,107
前年同月比(%)	▲ 0.0	▲ 13.1	▲ 13.1	1.2	11.5	▲ 5.9	▲ 4.9	▲ 16.4	3.3

<繊維>

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
広幅織物(千㎡)	1,028	755	732	663	577	640	666	787	729
前年同月比(%)	▲ 19.6	▲ 37.4	▲ 37.0	▲ 39.5	▲ 46.1	▲ 51.0	▲ 51.4	▲ 48.6	▲ 47.2
小幅織物(千㎡)	20	17	15	11	13	15	17	17	20
前年同月比(%)	▲ 25.5	▲ 32.8	▲ 41.3	▲ 55.9	▲ 37.1	▲ 35.1	▲ 37.0	▲ 35.3	▲ 21.8

<観光>

	R 2年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
観光施設(10施設)入込 (千人)	131	21	234	223	389	342	396	476	271
前年同月比(%)	▲ 76.5	▲ 96.7	▲ 28.6	▲ 26.6	▲ 24.2	▲ 7.9	26.2	24.7	2.7
有料道路(4路線)通行量 (千台)	318	315	420	489	687	558	573	615	560
前年同月比(%)	▲ 55.8	▲ 58.5	▲ 36.3	▲ 32.7	▲ 22.0	▲ 21.9	15.6	10.5	▲ 0.8

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和3年2月号 通巻538号

発行 静岡県経済産業部
令和3年2月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>